

目覚めよ：ある男性がキャンピングカーでワクチンの害を 宣伝

Covid ワクチンの傷害や死亡例の写真を張り付け、世間に実情を教える

Infowars.com

October 15, 2021

<https://www.infowars.com/posts/wake-up-man-spreads-awareness-of-covid-vaccine-injuries-deaths-using-motorhome/>

⇒大型キャンピングカーを用いて、ワクチンの危険を知らせて回る。

マスチューセッツの自由の戦士が、キャンピングカーを使い、ビデオに撮ったフィルムを見せて、いかに Covid-19 ワクチンが危険であるかを、全く知らない大衆に知らせようとしている。

社会メディアによって流布されたフィルムを見ると、ボストン近辺のある男性が、自分の RV 上に展示した 5 枚のパネルによって、ワクチンによるいくつかの障害や死亡の例を示そうとしている。

このディスプレイが珍しいからであろう。若干の人々が興味をもって足を止め、これらのパネルを眺めている。

これらのパネルは、ワクチンが安全なのかを問いかけ、死んだ人々、また他のワクチン障害に苦しんでいる人々の写真を、添えている。

(実物写真とその説明)

ここに、展示された、何枚かのワクチンによる障害者のクローズアップ写真がある。

Infowars は、この人の、真実を広め、大衆に情報を与えようとする、献身的な努力に敬意を表するものである。

[訳者の感想]

この世界に生きる責任を、自ら感じて啓蒙に当たるといふ、この時代の鏡のような人物像がここにある。「そんなことをして、どれくらい効果があるのか」などと冷やかに言う人には、爪の垢を煎じて飲ませたい。今、この人の、この情熱からしか、問題解決の道は生じない。10年以上も前、Poisoned World という、世界が毒されていく現実を描く、連続もののビデオがあった。この事実はほとんど知られていないもので、私はその一部でも、翻訳して紹介できないかと思い、たまたま英語の非常によくできる友人に、共訳を呼びかけてみた。彼は私に、この巨悪に対して2人で立ち向かうことなどできないのだから、断ると言ってきた。これを私は思い出す。この青年は一人で巨悪に立ち向かっている。そしてその様子を見ると、この方法は通行人を確実に引き付けているようである。

NATO は、あなたの脳をハッキングする計画を立てている

Ben Norton | TheGrayZone.com

October 15, 2021

<https://www.infowars.com/posts/natos-plans-to-hack-your-brain/>

⇒なぜなら、これは現実にあなたの脳に対する戦争なのだから。

NATO 軍事同盟に所属する西洋の諸政府は、中国とロシアの脅威といわれるものを使って「認知能力戦争」cognitive warfare という戦略を開発し、あらゆる人間を武器化するために、「人間の領有権」内部の「あなたの脳を奪う戦い」を仕掛けることを、正当化しようとしている。

NATO は、この軍事同盟の言うように、「あなたの脳を奪う戦い」を仕掛ける、新しい形の戦争を開発している。

アメリカに主導される NATO 軍事カルテルは、新しい形の入り混じった戦争を、その自ら宣言する敵に対して、すなわち経済戦争、サイバー戦争、情報戦争、そして真理戦争などを含むものに対して、テストしてきた。

現在、NATO は、彼らが認識能力戦争と名付けた、全く新しい種類の戦闘を紡ぎ出しつつある。「脳科学の兵器化」という説明によって、この新しい方法は、「人間の脳の傷つきやすさ」を、うまく利用することによって「個人をハッキングし」、より進んだ「社会工学」の実現を目指すものである。

最近まで NATO は、戦争を 5 つの作戦的分野に分け、空、陸、海、宇宙、およびサイバーの各攻撃としてきた。しかし、その認識（科学）戦争の戦略開発とともに、この軍事連合は、新しい第 6 のレベル、すなわち「人間的領域」human domain を論ずるようになった。

この新しい戦争の形態の、2020 NATO スポンサーによる研究は、明瞭にこう説明されている：<https://www.innovationhub-act.org/content/cw-documents>

「5 つの領域で取る行動は、人間の領域に効果をもたらすための行動であるが、認識能力の戦闘行動の目的は、あらゆる人間を武器にすることである。

「**脳は 21 世紀の戦場になるであろう**」と、報告は強調する。「人間は争われる領域」であり、「未来の紛争が人々の間で行われるのは、おそらく、最初はデジタルの形で、その後は肉体的に、政治的・経済的な権力の中心部近くで、起こるであろう。」

この NATO に支援された研究は、認識能力戦争の研究の多くは、防衛目的のために考案されたと主張しているが、それはまた、この軍事同盟は、攻撃戦術の開発を目指すものとも認めており、「人間は、その大部分が傷つきやすさ (vulnerability) であり、それは NATO の人間首都を保護するためでもあるが、同時に、我々の敵の傷つきやすさから利益をうることができなければならない。

ぞっとするような内部を見せて、この報告ははっきりと言っている——「認識能力戦争の目的は、**社会に害を与えることであって、軍事的なものだけではない。**」

文民の人口全体を NATO の照準に狙いつつ、この報告は、西洋の軍隊が、社会科学や人間科学を兵器化するために、そして、この同盟が認識能力兵器の能力を発展させるために、もっと密に、アカデミア（学界世界）と協働する必要があると強調している。

研究は、そのようなことが起こることを、「脳科学の軍事化」と言っているが、NATO の認識能力戦争の発展が——最も密かな社会的関係から、心そのものに至るまで——人間社会と心理学のすべての側面の、軍事化につながることは、明かだと思われる。・・・

換言すれば、この文書が示しているのは、NATOの軍事カルテルの人物たちが、彼ら自身の国内の民衆を、ますます脅威と見るようになったことである。・・・

[訳者解説]

この論文はこの数倍の長さをもつ。残念だが私の手に負えないので、残りの見出しタイトルだけをあげておく：――

- ・カナダが、認識能力への「NATOの変革チャレンジ」を放送
- ・NATOのバックを得た、カナダの軍事的役人たちが、パネルディスカッションで認識能力戦争を討論する
- ・NATOの研究者が、認識能力戦争を、「**脳に害を与える方法**」と説明

「認識能力戦争は単に、我々の考えることに対する戦争ではない。それはむしろ、我々の考え方に対する戦争であり、その方がはるかにより強力で、情報戦争や心理戦争より、はるかに徹底した効果をもつものだ。」

- ・NATOの認識能力戦争の研究は、「深く根付く第五列」を警告する（「第五列」とは味方を装い紛れ込む敵方のこと）
- ・カナダの軍事役人が、NATOの認識能力戦争の研究への、企業の投資を要求

まず注意しておくことがある。NATO（North Atlantic Treaty Organization、北大西洋条約機構）のTreatyをTerroristに置き換えることが、ほとんど常識になっていること。すなわち、NATOはグローバリストの重要な暴力部門だということである。

さらに注目すべきは、ここで繰り返されるNATOの代表国カナダは、トルドー首相を先頭として、現在、バイデンのワクチン強制命令の急先鋒になっていることである。これで、かなりの点と点のつながりが見えてくるだろう。

このNATOの新戦略なるものが、いかに思い上がった、かつ滑稽なものであるかが、一読してわかるだろう。彼らは何を中心にして思い上がっているか？ それはサタンを中心とする唯物論的人間操作である。人間の認知能力を自由に操る「科学」を創り出そうとしている。これは、ワクチンを武器として使い、人間を支配しようとするファウチの「科学」と、本質的に同じものである。支配し操るとは、ここで戦略家の一人が言っているように、「脳に損傷を与える」ということである。これはヨゼ

フ・メンゲレの実験と同じく、やればできるであろうが、それでどうなるというものではなかろう。ただ破壊するだけである。それでゾンビ（彼らが実際に使っている言葉）を製造して、世界を征服することができるだろうか。恐ろしい話だが、嘔飯ものでもある。

彼らは、我々の脳をいじること（科学的操作）によって、人間を支配できるかのように考えるが、我々を支配しているのは、我々自身の魂、我々を包み込む我々の魂だから、我々を物理的に身障者にする以外に、支配の方法はない。しかしそれは本当の支配ではない。現に「ゾンビ」と言われるものが、本当に魂を抜かれて存在するかどうか疑わしい。我々を支配できるとすれば、それは我々を墮落させることによるのであるが、これは教育一般の問題であって、彼らの特別の問題ではない。これには、どう対処すべきかわかっている。我々と、彼ら自信ありげな NATO 新戦略の輩が戦って、堂々と勝負すればよい。結局これは神とサタンの戦いである。我々に勝ち目はないなどと言う人があれば、その人には人間をやめていただくしかない。

狙われているのは我々の命ではなく、我々の脳であることがわかってきた。彼らの戦術に対する我々の戦術が、立てやすくなったと言えるだろう。

——訳者 Greatchain